



Creative assets management™

Extensis™

Portfolio™ 8.5

ユーザーガイドアップデート



お問い合わせ先

株式会社セラーテムテクノロジー

電子メール：sales_ap@celartem.com
インターネット：<http://www.celartem.com>

FAQ よくある質問

インターネット：<http://www.extensis.co.jp/support/faq.asp>

技術情報

インターネット：<http://www.extensis.co.jp/support/techinfo.asp>

その他お問い合わせ先

インターネット：http://www.extensis.co.jp/support/pre_contact.asp

©2007 Extensis, a division of Celartem, Inc. 本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断複写・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensisの書面による承諾なしに複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

ExtensisはExtensisの商標です。Extensisのロゴ、Extensis Library、Font Reserve、Font Reserve Server、Font Vault、Font Sense、Portfolio、Portfolio Server、Portfolio NetPublish、NetPublish、Suitcase、Suitcase ServerはExtensisの商標です。Celartem、Celartem, Inc.、Celartemのロゴ、PixelLive、PixelSafeはCelartem, Inc.の商標です。Adobe、Acrobat、Illustrator、Photoshop、PostScriptはAdobe Systems, Incorporatedの商標です。Apple、AppleScript、Bonjour、FontSync、Macintosh、Mac OS 9、Mac OS X、PowerPC、QuickDrawはApple Computer, Inc.の登録商標です。Microsoft、Internet Explorer、Windows、Windows XP、Windows 2000、Windows NT、Windows ME、Windows 98はMicrosoft Corporationの登録商標です。IntelはIntelの登録商標です。その他すべての商標は各社が所有しています。

Extensis (米国)

1800 SW First Avenue,
Suite 500
Portland, OR 97201
フリーダイヤル：(800) 796-9798
電話：(503) 274-2020
Fax：(503) 274-0530
インターネット：<http://www.extensis.com>

Extensis Europe

Suite 17 & 18, Newton House
Northampton Science Park
Kings Park Road, Moutlon Park
Northampton NN3 6LG
United Kingdom
電話：+44(0)1604 654 270
Fax：+44 (0)1604 654 268
電子メール：info@extensis.co.uk

本製品の一部では、さまざまなオープンソースプロジェクトで開発されたソフトウェアコンポーネントを使用しています。そうしたコンポーネントのソースコードのライセンスおよび使用可能性については、本製品に付属する著作権表示ファイルであるLICENSES.TXTに示されています。ソフトウェアコンポーネントの利用に関する情報については、該当するライセンスを参照してください。

Extensisは、製品の購入日より30日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が無いことを保証します。製品をExtensisから直接購入し、30日以内に障害が発生した場合、ディスクをExtensisに返送いただければ交換いたします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前にExtensisで登録する必要があります。販売店から購入したExtensis製品は販売店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensisは、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に関して、明示的または暗黙的を問わず他のいかなる保証もいたしません。



目次

Portfolio 8.5の紹介	1
新機能	1
登録とパーソナライズ	2
技術サポート	2
本書について	2
Portfolio 8.5.....	3
Portfolio 8.5クライアントおよびスタンドアロンの新機能	3
システムおよびソフトウェア要件	3
シリアル番号の登録.....	4
カタログタイプ	4
カスタムカタログタイプの作成.....	6
プリセットパレット	6
デフォルトフィールド値	7
高速カタログ作成	8
Portfolio Server 8.5とSQL Connect 8.5	10
Portfolio Server.....	10
Portfolio Serverの最小システム要件.....	10
Portfolio SQL Connect.....	11
Portfolio SQL Connectのシステム要件	13
Windowsのシステム要件	13
Macintoshのシステム要件	13
Portfolio NetPublish 8.5	14
NetPublishの新機能	14
アセットダウンロードログ	14
透かしおよびアセットダウンロードの保護	15

Portfolio 8.5の紹介

新機能

Portfolio 8.5には、ワークフローを迅速化し、Portfolio製品全体をより使いやすくする多くの新機能が含まれています。

インストール、設定、および使用方法の詳細については、『Portfolio 8.5 ユーザーガイドアップデート (PDF)』、『Portfolio Project Sync ユーザーガイド (PDF)』、リリースノートを参照してください。

Portfolioクライアントおよびスタンドアロン

Portfolioクライアントおよびスタンドアロンアプリケーションでは、新しい機能やオペレーティングシステムの互換性が追加されました。

- **カタログタイプ** - 新規カタログ作成時にたくさんの既存の設定からカタログを作成することができるようになりました。
- **デフォルトのフィールド値** - カタログへの新規アイテム追加時に、他の値が選択または抽出されない場合、特定のフィールドを常にデフォルトの値を設定できるようになりました。
- **プリセットパレット** - プリセットパレットを使用すれば、「割り当て」をクリックするか、プリセットをアイテム上にドラッグするだけで、複数のプロパティを一度に割り当てることができます。また、キーワードや、説明、カスタムフィールド値なども大幅に改善されました。
- **Microsoft Windows Vistaとの互換性をサポート。**
- **Adobe IllustratorおよびInDesign CS3ファイルとの互換性をサポート。**
- **新しいデジタルカメラのRAW形式をサポート。**
- **EPSおよびPDFファイル形式のサポートを改善。**

Portfolio ServerとSQL Connect

Portfolio Serverのパフォーマンスが向上し、SQLデータベースのサポートが改善されました。

- **オートシンクを改善し、フォルダ同期をより高速に安定して実行できるようになりました。**
- **Portfolio SQL Connectの対応データベースを拡張し、Microsoft SQL Server 2000および2005、MySQL 4および5、Oracle 10g R2がサポート対象となりました。**

Portfolio NetPublish

NetPublish 8.5には、画像透かし機能とダウンロードログが追加されました。

- **画像の透かし機能を利用してファイルに透かしを配置し、JPG、GIF、PNG、BMPなどの画像が不正に使用されるのを防ぎます。**
- **アセットログを新たに追加し、NetPublishサイトからどのアイテムがアクセスされ、ダウンロードされているか特定することができます。**

Portfolio Project Sync

Portfolio Project Syncは、カタログのAutoSyncフォルダを、Illustrator、InDesign、Photoshop、Bridgeなどのアプリケーションに内蔵されたAdobe Version Cue CS3 Clientに直接接続します。これにより、Portfolioクライアントを開くことなく、ほとんどのAdobe CS3アプリケーションから直接Portfolioのアセットにアクセスすることができます。

インストール、設定および使用に関する詳細情報については、『Portfolio Project Syncユーザーガイド』を参照してください。

登録とパーソナライズ

できる限り最善のサービスをご提供させていただくために、お客様がご利用のPortfolioを登録していただくことが重要です。Portfolio登録ユーザーは、技術サポート、新しいバージョンアップおよび製品に関する情報などを電子メールにて受け取ることができます。

お客様のシリアル番号は、Portfolio CDのジャケット、または製品パッケージに記載されています。アップグレード版の場合は一部電子メールで通知されることもございます。Portfolioの初回起動時に表示されるダイアログにシリアル番号を入力してPortfolioをパーソナライズします。

パーソナライズしていない場合、Portfolioはデモモードで動作し、製品の使用は30日間に限定されます。シリアル番号はエクステンシスカスタマーサービスより追加購入することができます。連絡先の詳細については、このガイドの冒頭にあるお問い合わせ先を参照してください。

技術サポート

詳細は、サポート申込書をご覧ください。

*サポートを受けるには、ユーザー登録が必要です。

技術サポートに連絡する際は、以下の情報が必要です。

- ご利用のPortfolioのシリアル番号
- ご利用のコンピュータの構成
- 質問、または問題の内容 - 具体的に、何がいつ発生するのか
- サポート担当者からの電話連絡をご希望の場合、お客様の電話番号

表示されたエラー番号またはメッセージ、その他関連があると思われる情報を書き留めてください。

よくある質問の回答やトラブルシューティングのヒントについては、エクステンシスのWebサイトのPortfolioのページを参照してください。

<http://www.extensis.com/portfolio/>

本書について

本書では、Portfolio 8.5、Portfolio Server 8.5、Portfolio SQL ConnectおよびPortfolio NetPublish 8.5で更新された項目のみを扱っており、バージョン8.0の資料を補足しています。今回バージョンで更新された項目以外については、バージョン8.0の資料を参照してください。本書の情報は、本書以外に記載されているほかの一切の使用説明に優先します。

Portfolio 8.5

Portfolio 8.5クライアントおよびスタンドアロンの新機能

Portfolio 8.5には、ワークフローの効率化に役立つようにデザインされた多くの新機能があります。本章では、以下の各機能について説明します。

- カタログタイプ
- プリセットパレット
- デフォルトフィールド値
- Microsoft Windows Vistaとの互換性
- Adobe InDesignおよびIllustrator CS3ファイルとの互換性
- 新しいデジタルカメラのRAW形式のサポート
- EPSおよびPDFファイル形式のサポートの向上

システムおよびソフトウェア要件

Portfolio 8.5をインストールして使用するために必要な最小のハードウェアおよびソフトウェアは、次のとおりです。

Portfolio Macintosh版：

- Mac OS X (10.4.4以降)
- 1GHz以上のG4、G5またはIntel Coreプロセッサ
- 256MB以上のRAM
- 500MB以上のハードディスク空き容量 (データベースおよびアセットの格納には、さらに容量が必要な場合があります)
- QuickTime 7以降
- 1024 x 768以上のディスプレイ
- サーバーおよびNetPublish接続のためのネットワークインターフェースカード
- Adobe Flash 7以降のプラグインがインストールされたWebブラウザ

- Adobe Reader 5以降
- Officeファイルタイプのテキストインデックスおよびサムネール作成のためのMicrosoft Office X (10.1.9のみ)。Officeファイルのカatalog作成に使用されないシステムは、Office Xがインストールされていない場合でも、Officeファイルの閲覧および検索を行うことができます。

Portfolio Windows版：

- Windows 2000 SP4、Windows XP SP2またはWindows Vista
- 1GHz以上のプロセッサ
- 256MB以上のRAM
- 500MB以上のハードディスク空き容量 (データベースおよびアセットの格納には、さらに容量が必要な場合があります)
- 1024 x 768以上のディスプレイ
- サーバー接続用のネットワークインターフェースカード
- QuickTime 7以降
- Adobe Flash 7以降のプラグインがインストールされたWebブラウザ
- Adobe Reader 5以降
- Officeファイルタイプのテキストインデックスおよびサムネール作成のためのMicrosoft Office 2003 SP2以降。Officeファイルのカatalog作成に使用されないシステムでは、Officeがインストールされていない場合でも、Officeファイルの閲覧および検索を行うことができます。



Portfolio 8.5には、前のバージョンとの下位互換性がありません。すべてのクライアントおよびサーバーは、バージョン8.5を実行してください。

Portfolioのバージョンをアップグレードする場合は、Portfolioの前のバージョンのシリアル番号をインストール時に必ず用意してください。

シリアル番号の登録

シリアル番号は、Extensis Portfolioを初めて起動したときに登録することができます。またはメニューコマンド「シリアル番号の登録」コマンドを使って登録することもできます。Portfolioスタンドアロン版からPortfolioクライアント版へアップグレードする際、この作業が必要になる場合があります。

シリアル番号の登録方法

- Portfolioを初めて起動する時に、「新しいシリアル番号を入力」ダイアログボックスが自動的に表示されます。有効なシリアル番号を入力して、「続行」をクリックします。

- または -

- 「ヘルプ」>「新しいシリアル番号を入力」の順に選択します (Win)。

または、「Portfolio」>「新しいシリアル番号を入力」の順に選択します (Mac)。

- シリアル番号を入力し、「続行」をクリックします。

カタログタイプ

カタログタイプを利用すると、特定の目的の新規カタログをより簡単に速く設定することができます。新規カタログの作成時に、選択するカタログタイプがいくつかあります。各カタログタイプは、詳細にカタログをカスタマイズする場合のベースとなるものです。

カタログタイプは主に、含まれるカスタムフィールドの数およびタイプに違いがあります。Portfolio 8.5では、ユーザーのニーズに最も一致するカタログタイプを選択することができます。

- 汎用
- ムービーライブラリ
- Office™文書

- フォトライブラリ
- Project Sync for Adobe® Creative Suite
- 簡易

カスタムフィールドおよびキーワード設定に加えて、その他の設定も各カタログタイプに合わせて最適化されています。これらの設定には、通常「カタログ作成の詳細オプション」ダイアログボックスで設定する内容が含まれます。例えば、Project Syncタイプのカタログで使用されるサムネールのサイズは、256ピクセルで設定されますが、この設定はAdobe Bridgeと併用する場合に最適なサイズです。

カタログタイプを選択するメリットはすぐにおわかりいただけると思います。Portfolioによって自動的に多くのカスタムフィールドが作成されるので、必要な設定時間はかなり短縮されることとなります。また、多数のカスタムフィールドを必要としない場合は、カタログのアイテムへのアクセスおよび検索がより速くなります。

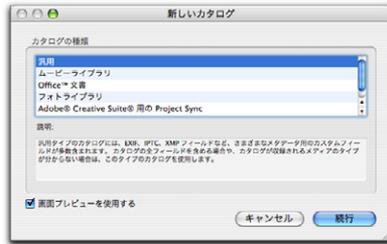
最初の時点でどのカタログタイプを選択しても、カスタムフィールドの追加および削除や、特定のニーズに合わせてメタデータマッピングの更新を行うことができます。



重要：カタログタイプの選択を行っても、Portfolioによってサポートされるすべてのファイルタイプのカタログ化ができなくなるわけではありません。

新規カタログの作成

- 「ファイル」>「新規」の順に選択します。
- 新規カタログを作成するディスクの場所を選択し、カタログ名を入力して「保存」をクリックします。
- 「新しいカタログ」ダイアログボックスで、ドロップダウンメニューからカタログタイプを選択します。選択対象のタイプは、以下のように6つあります。



- **汎用** - 汎用タイプのカタログには、EXIF、IPTC、XMP フィールドなど、さまざまなメタデータ用のカスタムフィールドが多数含まれます。カタログの全フィールドを含める場合や、カタログが収録されるメディアのタイプが分からない場合は、このタイプのカタログを使用します。
- **ムービーライブラリ** - ムービーライブラリタイプのカタログは、QuickTimeを利用して、MOV、AVI、MPGビデオを含むカタログ用に最適化されます。カスタムフィールドは、ビデオ特有のメタデータを抽出するために作成されます。サムネイル設定は、ビデオに15秒間の画像を生成します。サムネイル設定によって、最初の15秒から各ビデオに生成されます。



このタイプのカタログでは、サポートされたビデオ形式のみカタログ化できます。その他のファイル形式は無視されます。

- **Office文書** - Office文書タイプのカタログは、PortfolioでMicrosoft Officeの文書を追跡するよう設計されています。これは、Word(DOC)、PowerPoint(PPT)およびExcel(XLS)など、Microsoft Officeの一般的なファイル形式に限定されます。カスタムフィールドは、Microsoft特有のメタデータとサポートされているファイル形式からのテキストを抽出するように作成されます。

また、このカタログタイプを使用すると、カタログ化されたアセットに含まれるテキストの完全なインデックス化ができます。これにより、ファイル内に含まれる語句の検索を行うことが可能になります。このカタログタイプを使用したドキュメントファイルのカタログ化には、強力なテキストインデックス化プロセスのため、多少時間がかかる場合があります。



このタイプのカタログでは、サポートされたMicrosoft Officeファイルタイプのみ、カタログ化することができます。その他のファイル形式は無視されます。

- **フォトライブラリ** - フォトライブラリタイプのカタログには、デジタルカメラのRAWファイルなどの画像形式から、埋め込まれたEXIF、IPTC、XMPメタデータを抽出するためのカスタムフィールドが含まれます。
- **Project Sync for Adobe® Creative Suite** - Project Syncタイプのカタログは、Portfolio Project Syncプラグインを使用してAdobe Version Cue®と併用するよう最適化されています。これらのカタログには、多くのAdobeアプリケーションにある「ファイル情報」ダイアログから利用可能な、ファイルのXMPパネルから直接編集できるカスタムフィールドが含まれています。



このタイプのカタログでは、埋め込まれたメタデータと同一性を維持するために、パスを自動的にキーワード登録しません。ニーズに合わせてこの設定をカタログ作成オプションで変更したい場合があるかもしれません。しかし、Portfolio以外のユーザーに表示されるのはファイルの埋め込みXMPメタデータのみで、これらのキーワードが表示されない場合がありますので、ご注意ください。

- **簡易** - 簡易タイプのカタログには、カスタムフィールドは含まれず、ファイルからのメタデータを抽出するには設定されません。簡易タイプのカタログは、特定のカスタムフィールドや手動で指定するメタデータ抽出設定を必要とする複雑なカタログの開始場所として便利です。

このカタログタイプには、「キーワード」フィールドおよび「説明」フィールドがありますが、これらのフィールドにメタデータを抽出するよう設定することができます。キーワードは、パスに基づいてカタログで自動生成されます。

4. 「OK」をクリックします。

新規カタログが作成されます。

必要に応じてカスタムフィールドの追加や削除、メタデータ設定の変更を行うことによって、カタログをさらにカスタマイズできるようになりました。

カタログ作成中のアセットのタイプに応じて、「カタログ」>「カタログ作成の詳細」オプション>「プロパティ」タブから、「書類内のテキストをインデックス化」および「パスからキーワードを作成」設定の更新も行うことができます。

カスタムカタログタイプの作成

Portfolioの特長の1つに、ユーザーのニーズに応じた設定ができる機能があります。カスタムフィールド、メタデータのマッピング、サムネールのサイズなど、すべてカスタムカタログタイプに保存することができます。カタログ設定が保存されると、新しいカタログを作成するときには、この新しいタイプを使用することができます。

現行カタログの特定のカスタマイズ項目を複製した新しいカタログを作成する場合、カスタムカタログタイプは便利な機能です。同じ設定を使用した多数の新規カタログを短時間で作成するときにも利用できます。

新規カタログタイプの作成方法

1. 特定のニーズに応じたカタログにカスタマイズします。カタログタイプには次の値が保存されます。
 - カタログ作成の詳細オプション
 - カスタムフィールド。デフォルト値、および各フィールドに事前設定された値一覧を含む
 - メタデータマッピング
 - マスターキーワード
2. 「ファイル」>「カタログタイプの保存」の順に選択します。

3. 「カタログタイプの保存」ダイアログボックスで、名前と説明を入力します。この情報は新規カタログを作成したときにカタログタイプリストに表示されます。



現行のカタログタイプと同じ名前で保存すると、既存のタイプが上書きされます。

4. 「OK」をクリックして、新しいカタログタイプを作成します。



ここに含まれるのはカタログ固有の設定値のみです。現行カタログのアセット、ギャラリー、カテゴリー、カスタムビュー、保存された検索結果などは、カタログタイプに引き継がれません。



カタログには言語固有の設定が保存されるため、各カタログタイプは現在使用されている言語でのカタログ設定値を保存します。たとえば英語用のカタログタイプを作成する場合、英語版Portfolioでカタログタイプを作成、保存してください。

プリセットパレット

プリセットパレットでカタログ作成オプションプリセットを利用することにより、多数の異なるデータ項目を同時に更新することができます。これには、キーワード、説明、およびすべてのカスタムフィールドが含まれます。

手動によるアイテムのカタログ作成時は、通常、「カタログ作成オプション」ダイアログボックスが表示されます。プリセットパレットを使用すると、アセットがカタログ化された後でも1回のクリックで設定済みの保存されたカタログ作成オプションを適用できるので、大量のメタデータを1回のクリックだけで簡単に更新することができます。



プリセットの適用時は、「新規アイテムを追加する際に、次のことを実行します。」からオプションを選択します。コピー、移動または名前変更のオプションは無視されます。プリセットが適用されると、キーワードなど、複数の値を保持できるフィールドの変更は、アイテムレコードに付加されます。説明フィールドなど値が1つしかないフィールドの場合は、カタログの現在の設定値で上書きします。

プリセットパレットの表示方法

1. 「ウィンドウ」>「プリセットを表示する」の順に選択します。

新規プリセットの作成方法

1. 「ウィンドウ」>「プリセットを表示する」の順に選択します。
2. 「オプション」をクリックします。
3. 「カタログ作成オプション」ダイアログボックスで、「新規アイテムを追加する際に、次のことを実行します。」からオプションを選択します。



コピー、移動および名前変更のオプションは、プリセットとして適用されるときは無視されます。

4. 「別名で保存」をクリックします (Win)。または、ドロップダウンメニューから「別名で保存」を選択します (Mac)。
5. プリセットに名前をつけて、「OK」をクリックします。
6. 「OK」をクリックして、「カタログ作成オプション」ダイアログボックスを閉じます。



プリセットの適用

1. プリセットパレットから、プリセット名をクリックし、ギャラリーにある単一のアイテム、または反転表示されたアイテムのグループの上にドラッグします。

または、

ギャラリーで単一アイテムまたはアイテムグループを反転表示させてから、プリセットパレットでプリセット名を反転表示させ、「割り当て」をクリックします。

2. 「OK」をクリックして、選択されたアイテムにプリセットを割り当てます。



プリセットの割り当てを元に戻すことはできません。

デフォルトフィールド値

デフォルト値は、カタログのフィールドに指定することができます。これで、値を入力しておきたいカスタムフィールドに、常に値が入力されるようになります。

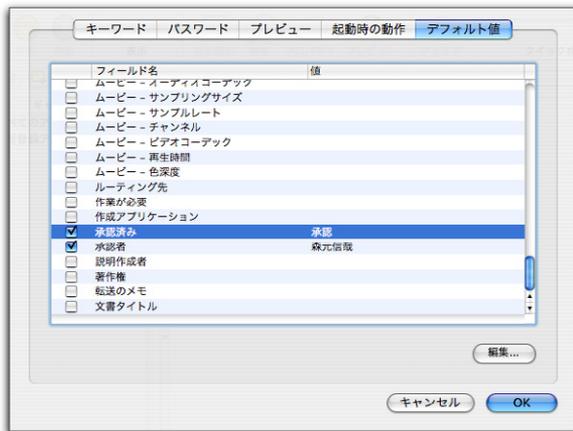
新規ファイルがカタログ化されると、値は、「カタログ作成オプション」ダイアログボックスから入力される場合があります。しかし、設定がされていなくても、デフォルト値は、そのアイテム用に自動的に記録されます。

例えば、進行中のすべての作業のためのPortfolioカタログがある場合、「ステータス」というカスタムフィールドを使用するとします。このカスタムフィールドのデフォルトフィールド値に「ドラフト」と設定すれば、新規にカタログ作成されたアイテムすべてがこの「ドラフト」という設定になり、この値を後で変更したときだけ「最終版」に変更されるようになります。

デフォルト値は、抽出された値または手動で割り当てられた値で上書きすることもできます。手動で割り当てられた値には、カタログ作成オプションによって割り当てられた値、またはFolderSync、AutoSyncもしくは自動カタログ化によって適用された値が含まれます。

フィールドのデフォルト値の定義

1. 「カタログ」>「アクセス権のレベル」の順に選択します。
2. 管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。
3. 「カタログ管理」ダイアログボックスで、「デフォルト値」タブを選択します。カタログのカスタムフィールドすべてがこのタブ上に一覧表示されます。



4. デフォルト値を設定したいカスタムフィールドを見つけます。フィールド名の左側のチェックボックスにチェックを入れます。

既にデフォルト値の設定がある場合は、「編集」ボタンをクリックします。それ以外の場合は「編集」ダイアログボックスが自動的に開きます。

5. 「編集」ダイアログボックスは、編集中のカスタムフィールドのタイプによって異なります。複数値のフィールドでは、1つ以上のデフォルト値を追加でき、単一値のフィールドでは、デフォルト値は1つしか設定できません。



適切なデフォルト値を入力し、「OK」をクリックします。

6. 必要に応じてデフォルト値をさらに追加します。
7. デフォルト値の追加を完了したら、「OK」をクリックします。

高速カタログ作成

カタログにアイテムを追加するとき、Portfolioではファイルが2段階のプロセスでカタログ化されます。

第1段階では、すべてのファイルがすばやくスキャンされ、カタログに追加されます。ファイルがスキャンされると、埋め込みサムネイルファイルが抽出され、ファイルが部分的にカタログ化されていることを示す黄色いドットと共に表示されます。部分的にカタログ化されたファイルは、カタログ作成プロセスに影響を与えることなく閲覧することができます。

ファイルのカタログ化が進むと、Portfolioユーザーインターフェース下部に進行状況表示バーが表示され、カタログ化プロセスの一時停止、続行またはキャンセルを行うことができます。完全にカタログ化されていないアイテムでも、必要に応じて開いたり、プレビューすることができます。

カタログ作成の第2段階はバックグラウンドで行われますので、アイテムのカタログ化が終了するまでの間、Portfolioで作業を続行できます。

高速カタログ作成は、「カタログ作成の詳細」オプション（「カタログ」>「カタログ作成詳細」オプション>「サムネイル」タブ）で有効および無効にすることができます。

高速カタログ作成のインジケータドット

黄色ドット

カタログサムネール上の黄色ドットは、一部カタログ化されたアイテムを示しています。カタログ作成の第1段階の間、Portfolioは埋め込みサムネールやプレビュー、アクセスが容易なメタデータなどを抽出し、ファイル上に黄色ドットを表示します。これは、Portfolioによるファイルの追加処理が依然として必要であることを示します。黄色ドットは、第2段階の処理が完了すると消えます。

赤色ドット

カタログ化されたアイテム上の赤色ドットは、そのファイルが破損しているか、使用中であるか、またはファイル権限がPortfolioで読み取りできない状態になっている可能性があることを示しています。

赤色ドットは、カタログの設定がディスク上のプレビューファイルを生成するように設定されているとき、プレビューフォルダが見つからないか、そのフォルダにアクセスしてファイルを更新する権限がPortfolio（またはPortfolio Server）にない場合にも表示されることがあります。

カタログ作成ステータスによるファイルの検索

Portfolioでは、アイテムのカタログ作成ステータスに基づいてアイテムを容易に見つけることができます。例えば、カタログ作成プロセスが中断された場合、そのカタログに一部カタログ化されたアイテムが多く含まれている可能性があります。

一部カタログ化されたアイテム(黄色ドット)を見つけるには、

- 「編集」>「検索」>「カタログ化作業の完了していないアイテム」の順に選択します(Mac)。

または、

- 「カタログ」>「その他の検索」>「カタログ化作業の完了していないアイテム」の順に選択します(Win)。

一部カタログ化されたアイテムを見つけたら、このステータスのアイテムすべてを選択し、「アイテム」>「サムネールの再作成」の順に選択し、カタログ作成プロセスを完了します。

読み取り不可のアイテム(赤色ドット)を見つけるには、

- 「編集」>「検索」>「読み込めないアイテム」の順に選択します(Mac)。

または、

- 「カタログ」>「その他の検索」>「読み込めないアイテム」の順に選択します(Win)。

読み取り不可のアイテムを見つけたら、「アイテム」>「オリジナルファイルの操作」>「Finder上で表示」(Mac)または「アイテム」>「オリジナルファイルの操作」>「エクスプローラで表示」(Win)の順にコマンドを使用してファイルを検索し、ファイルの整合性またはアクセス権の問題を解決することができます。

Portfolio Server 8.5と SQL Connect 8.5

Portfolio Server

Portfolio Serverの今回のリリースでは、AutoSyncフォルダのパフォーマンスが改善されています。

Microsoft Windowsサーバープラットフォームでは、最新の画像処理フィルタにより、特定のアセットのタイプのカタログ作成を、より信頼性の高い方法でより迅速に作成することができます。特にEPS、PDF、Adobe IllustratorおよびInDesign形式のサポートを大幅に向上させました。

パフォーマンスおよび安定性の向上に加え、AutoSyncフォルダも更新され、新しいPortfolio Project Syncプラグインがサポートされています。この機能によってユーザーは、Portfolioクライアントを使用することなく、Adobe BridgeやほかのCreative Suiteアプリケーションから直接、Portfolioカタログに保存されたアイテムにアクセスできます。設定、構成および使用方法の詳細については、『Portfolio Project Syncユーザーガイド』を参照してください。

Portfolio Serverの最小システム要件

Portfolio Serverをインストールするために必要な、最小のシステム要件を以下に示します。



AutoSyncフォルダによって頻繁に更新されるデータベースが非常に大きい場合、高速なCPUを搭載したり、メモリを増設することでPortfolio Serverのパフォーマンスを大幅に向上させることができます。

Portfolio Server Macintosh版:

- Mac OS X v10.4.4(Mac OS X Server v10.4.4を含む)
- 1GHz以上のG4、G5またはIntel Coreプロセッサ
- 512MB以上のRAM
- 500MB以上のハードディスク空き容量 (データベースおよびアセットの格納には、さらに容量が必要です)
- QuickTime 7以降
- 1024 x 768以上のディスプレイ
- Adobe Reader 5以降
- 10メガビット以上の高速接続のネットワークインターフェースカード
- Officeファイルタイプのテキストインデックスおよびサムネール作成のためのMicrosoft Office X (10.1.9のみ)

Portfolio Server Windows版:

- Windows 2000 SP4、Windows XP SP2、またはWindows Server 2003 SP1またはR2
- 1GHz以上のプロセッサ
- 512MB以上のRAM
- 500MB以上のハードディスク空き容量 (データベースおよびアセットの格納には、さらに容量が必要です)
- 1024 x 768以上のディスプレイ
- 10メガビット以上の高速接続のネットワークインターフェースカード
- QuickTime 7以降
- Adobe Reader 5以降
- Officeファイルタイプのテキストインデックスおよびサムネール作成のためのMicrosoft Office 2003 SP2以降

Portfolio SQL Connect

SQLデータベースの開発に対応するために、Portfolio SQL Connectを拡張して以下のすべてをサポートしました。

- MySQL 4.1.21および5.0.37
- Oracle 10gR2
- Microsoft SQL Server 2000 SP4、2005 SP2

MySQL 5ではMySQL 4に対して一般的なカタログのパフォーマンスが大幅に改善されていますので、MySQL 5を利用することを強く推奨いたします。

Portfolio SQL Connectのシステム要件については、後出の一覧表を参照してください。



重要：SQL Serverは、Portfolio Serverと同じサーバーにインストールする必要はありません。

Portfolio SQLデータベースを Portfolio SQL Connect 8.5へ更新

以前のSQLベースのカタログから更新するときは、Portfolio Server 8.5との互換性を維持するために、SQL Connect Database Administrationツールを使用してスキーマを更新する必要があります。

データベースのアップグレードは、古いバージョンから順番に更新を行う必要がありますのでご注意ください。Portfolio 7のスキーマからアップグレードする場合は、最初にPortfolio 7から8に変換し、次に8から8.5に変換します。データベースのアップグレードについて不明な場合は、年間有償サポート契約の契約書に記載の問い合わせ先メールアドレスを参照して、テクニカルサポートまでご連絡ください。

Windows DBAツールを使用したアップグレード

Microsoft WindowsベースのSQLデータベースについては、『Portfolio Serverユーザーガイド』の「Database Administrationツール」の章に記載された指示に従ってスキーマのアップグレードを行ってください。



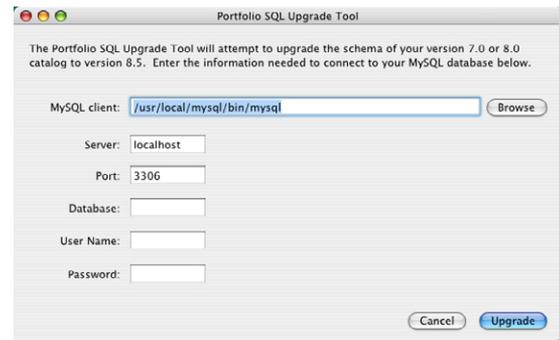
同梱のSQL Database Administration Toolには、Java Runtime Environment(JRE)バージョン1.5以上が必要です(Windowsのみ)。JREインストーラは、Portfolio Serverインストール時のハードディスク上のPortfolio Serverアプリケーションフォルダにあります。今回のバージョンのJREをインストールするには、以下の名前前のファイルを実行します。
jre-1_5_0_11-windows-i586-p.exe

Mac OS X Portfolio SQL Upgrade Toolを使用したアップグレード

Portfolio SQL Upgrade Toolは、Portfolio Serverのインストールによって自動的にインストールされます。

SQLデータベースを含む同じマシン上でアップグレードツールを実行することを強く推奨します。

1. 「Extensis Portfolio Server 8.5」>「Portfolio SQL Upgrade Tool」からアップグレードツールを起動します。



2. ツールによって、以下のMySQLクライアントのディレクトリが自動的に検索されます。

```
usr/local/mysql/bin/mysql/
```

MySQLが別の場所にインストールされている場合は、「Browse」をクリックして該当ディレクトリに移動します。

3. 「サーバー」フィールドに、MySQL Serverの場所を入力します。

このフィールドは、現在ログインしているシステムを示すlocalhostをデフォルトで表示していますが、他のMySQL ServerのIPアドレスまたはDNS名を入力することもできます。しかし、速度およびデータ整合性の問題から、MySQL Serverが稼動しているマシンと同じマシン上でアップグレードツールを実行することを推奨します。

4. MySQL Serverのデフォルトのポート番号は3306です。

サーバーが別のポートで稼動中の場合は、このフィールドを更新してください。

5. 「Database」は、アップグレードするMySQLデータベースの名前です。



データベース名は、大文字と小文字を区別します。

6. 「User Name」フィールドおよび「Password」フィールドには、アップグレード対象のMySQLデータベース上で権限が付与されたユーザー名とパスワードを入力します。

これは、Portfolio Serverの管理に使用するパスワードや、Portfolioカタログ内のユーザーパスワードではありません。MySQLユーザーアカウントやSQL Connectに必要な権限に関する詳細情報は、『Portfolio Serverユーザーガイド』を参照してください。

7. 「Upgrade」をクリックしてツールを実行します。カタログが非常に大きくても、ツールによって行われるスキーマのアップグレードにかかる時間は数分です。

Portfolio SQL Connectのシステム要件

Windowsのシステム要件	Macintoshのシステム要件
最小のハードウェア要件	最小のハードウェア要件
<ul style="list-style-type: none"> • CPU : 1 GHz Pentium 4 相当 • RAM : 1 GB 	<ul style="list-style-type: none"> • CPU : 1GHz 以上の G4、G5 または Intel Core プロセッサ • RAM : 2 GB
推奨ハードウェア要件	推奨ハードウェア要件
<ul style="list-style-type: none"> • CPU : デュアル2.8 GHz Pentium 4相当 • RAM : 2 GB <p> Portfolio Serverと同じマシン上にアセットが保存されている場合、ハードウェアRAIDアレイなど、高速なディスクアクセスを可能にするディスクハードウェアを使用することを推奨します。</p> <p> Portfolio ServerをSQLデータベースサーバーと同じマシンにインストールする場合は、より高速なCPUやハードディスクの搭載、RAMの増設が有効です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • CPU : デュアル2.0 GHz以上のG5 またはIntel Coreプロセッサ • RAM : 2 GB <p> Portfolio Serverと同じマシン上にアセットが保存されている場合、ハードウェアRAIDアレイなど、高速なディスクアクセスを可能にするディスクハードウェアを使用することを推奨します。</p> <p> Portfolio ServerをSQLデータベースサーバーと同じマシンにインストールする場合は、より高速なCPUやハードディスクの搭載、RAMの増設が有効です。</p>
ソフトウェア要件	ソフトウェア要件
<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft SQL Server 2000 SQL Server ODBC ドライバ v2000-8.00.2039 • Microsoft SQL Server 2005 SQL Server ODBC ドライバ v2005-9.00.1399.06 • Oracle 10g R2 Oracle ODBC ドライバ v10.02.00.01 • MySQL Database 4.1.21 または 5.0.41 MySQL Connector 3.51.12 <p> 最新のデータベースエンジンおよびODBCドライバは、正常に機能するかもしれませんが、未検証です。代替または最新のデータベースエンジンおよびODBCドライバは、お客様の責任において使用してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • MySQL Database 4.1.21 または 5.0.41 • MyODBC 3.51.14 <p> 最新のデータベースエンジンおよびODBCドライバは、正常に機能するかもしれませんが、未検証です。代替または最新のデータベースエンジンおよびODBCドライバは、お客様の責任において使用してください。</p> <p> Mac OS X上でのMySQLのインストールおよびセットアップの説明の詳細は、インストールディスクの Portfolio8_Installing_MySQL.PDF (英語版) ファイルを参照するか、最新資料を以下のWebサイトからダウンロードしてください。 http://www.extensis.co.jp/products/product_documents.asp</p>

Portfolio NetPublish 8.5

NetPublishの新機能

NetPublishの今回のバージョンでは、3つの新機能が導入されました。これらの新機能には、どのアイテムがサイトユーザーによってダウンロードされているかが分かるダウンロードログ、新しいダウンロードセキュリティ設定、NetPublishサイトに含まれるアイテムに透かしを入れる機能が含まれます。これらの各機能は、「中身の部分」に実装されているため、グラフィカルユーザーインターフェース上で見ることはできません。

アセットダウンロードログ

ダウンロードログは、NetPublishサイトからダウンロード中のアセットに関する豊富な情報を追跡します。このファイルはassets.logと名付けられ、お使いのサーバーOSに応じて、NetPublishサーバー上の以下の場所に配置されます。

今回のリリースでは多くの役立つ情報フィールドがこのログに追加されており、これを使用して、誰がファイルにアクセスしているか、どのファイルが頻繁にダウンロードされているかなどを判断できます。

Windowsの場合、デフォルトのインストールディレクトリは次のとおりです。

```
C:\Program Files\Extensis\Portfolio  
NetPublish Server\Web Root\app\assets.log
```

Macintoshの場合、デフォルトのインストールディレクトリは次のとおりです。

```
//Boot Volume/Applications/Portfolio  
NetPublish Server/Web Root/app/assets.log
```

assets.log ファイルはタブ区切りのファイルであり、標準のテキストエディタ、またはMicrosoft Excelなどの表計算プログラムで容易に読み取ることができます。表計算プログラムを使用してファイルを表示することにより、NetPublishサイトのトラフィックを分析し、そのデータからレポートを作成することが可能になります。

アセットログには下記の情報が順番に保存されています。

- ダウンロードの日付
- ダウンロードの時刻
- ダウンロードを開始したマシンのIPアドレス
- サイトがログインを要求した場合、ユーザーのログイン情報。サイトがログインを要求しない場合、この欄には使用可能なリモートホストのデータ(IPアドレスなど)が入ります。
- ダウンロードされたアイテムのファイル名（アーカイブの一部としてダウンロードしたファイルも含む）
- オリジナルソースファイルのパス名
- ファイルのPortfolioでのアイテムID
- アイテムのダウンロード元のカタログ名
- NetPublishカタログのエイリアス名
- NetPublishサイト名
- アーカイブファイル名（ダウンロードされたファイルがアーカイブの場合）
- ダウンロードされたファイルの高さ、幅およびアスペクト比（これらの設定が調整された場合）

透かしおよびアセットダウンロードの保護

画像に透かしを入れると、画像上に半透明のマークが配置されます。これにより、データの不正使用を防ぐことができます。

NetPublishによって対象の画像上に配置される透かしは、ユーザーの目につきやすい形で文字などを合成するタイプの可視透かしであり、いわゆる目に見えないタイプの不可視透かしではありません。透かしは、Webユーザーがアクセスするダウンロードファイルに影響を与えるだけで、オリジナルのアセットは変更されない点にご注意ください。

アニメーションではないGIF画像を選択し、透かしとして使用することができます。一般に、高コントラストでシンプルな画像（テキストを含むものなど）は、複雑で低コントラストな画像よりもパフォーマンスが優れています。このファイルは、NetPublishサーバーでアクセス可能な場所であれば、どこにでも置くことができます。

現在、透かし機能は、JPEG、GIF、PNGおよびBMPなど、NetPublishによって動的に拡大および縮小可能なすべての画像ファイルタイプをサポートしています。

透かし機能には、機能を有効化するための特定のユーザーインターフェースがありません。この機能を使用するには、site.propertiesファイルを編集する必要があります。このファイルは、サイトがNetPublishサーバーに公開される度に、NetPublish Assistantによって生成されます。

Windowsの場合、このファイルのデフォルトの場所は次のとおりです。

```
C:\Program Files\Extensis\Portfolio  
NetPublish Server\Web Root\site\  
<site name>\site.properties
```

Macintoshの場合、このファイルのデフォルトの場所は次のとおりです。

```
/Applications/Portfolio NetPublish Server/  
Web Root/site/<site name>/site.properties
```

site.properties ファイルは、Windowsのメモ帳またはMacintoshのTextEditなど、標準テキストエディタで開くことができます。ただし、UTF-8エンコード形式で保存してください。透かしやアセットダウンロードの保護を有効化するプロセスでは、必要なパラメータをこのファイルに付加し、オプションを選択する必要があります。

透かし画像の選択

透かしの透過ピクセル

透かしの透過性は、透かしGIFの上部左隅のピクセルによって決定されます。そのピクセルの色が背景と見なされ、透過色となります。アルファチャネルは無視され、透過性は上部左隅のピクセルによってのみ決定されますのでご注意ください。

透かしおよびアセット保護の設定

site.propertiesファイルから制御できる設定は6つあり、これらの設定は、透かしおよびアセット保護に反映されます。以下の表に設定の概要を示します。

設定	許容される変数	デフォルト変数
archives	true, false, watermark	true
originals	true, false, watermark	true
previews	true, false, watermark	true
watermarkAlign	center, topleft, bottomleft, bottomright, tile, fit	bottomright
watermarkOpacity	0 - 100	50
watermarkFile	透かし画像へのパス	なし

archives

true — アーカイブファイルのデフォルト設定です。この設定により、NetPublishサイトユーザーはアーカイブファイルをダウンロードできます。

false — NetPublishサイトユーザーによるアーカイブファイルのダウンロードを制限します。site.propertiesファイルのarchivesを無効化するときは、関連サイトにダウンロードされたアーカイブ機能が含まれていないことを確認してください。無効化によって機能しなくなります。

watermark — アーカイブへの画像の追加時に、透かし設定に基づき、各画像に透かしが入れられます。アーカイブに、透かしを入れられないアイテムがある場合、そのアイテムはスキップされ、アーカイブから除外されます。アーカイブに追加されたすべての画像に透かしが含まれるようにするには、

NetPublishサイトに公開されたすべての画像が、透かしを入れられる形式であることを確認してください。



NetPublishによるアーカイブ作成時に、透かしが入れられるファイルがない場合、「ファイルをダウンロードできません」というエラーがNetPublishサイトユーザーに表示されます。

originals

true — オリジナルファイルのデフォルト設定です。この設定により、NetPublishサイトユーザーはサイト上でオリジナルファイルのダウンロードや閲覧ができます。

false — NetPublishサイトユーザーによるオリジナルファイルのダウンロードを制限します。NetPublishサイトがオリジナル画像を含む設定になっている場合、サイトには、画像のレンダリングができないというメッセージが代わりに表示されます。

watermark — 各オリジナル画像には、NetPublishサイトユーザーに提供される前に、透かし設定に基づき透かしが入れられます。

previews

true — プレビューファイルのデフォルト設定です。この設定により、NetPublishサイトユーザーはサイト上であらゆるプレビューファイルのダウンロードおよび閲覧ができます。

false — NetPublishサイトユーザーによるすべてのプレビューファイルへのアクセスを制限します。NetPublishサイトがプレビュー画像を含むように設定されている場合、サイトには、画像のレンダリングができないというメッセージが代わりに表示されます。

watermark — NetPublishサイトユーザーに提供される前に、各プレビューJPGには、透かし設定に基づき透かしが入れられます。

watermarkAlign

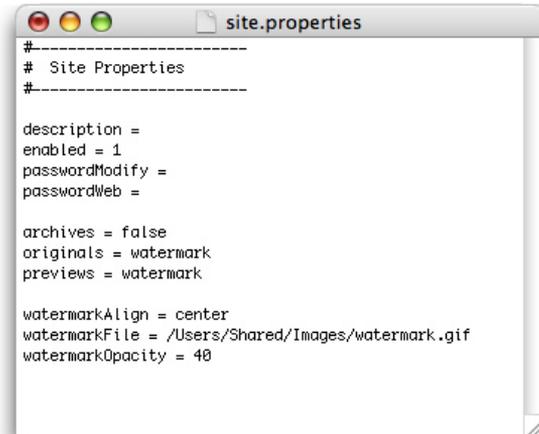
- center — 画像の中央に透かしが配置されます。
- topleft — 画像の左上隅に透かしが配置されます。
- bottomleft — 画像の左下隅に透かしが配置されます。
- bottomright — デフォルト設定です。右下隅に透かしが配置されます。
- tile — 対象の画像全体に透かしがタイル表示されます。
- fit — 透かしGIFを対象の画像の四隅に合わせて引き伸ばします。

watermarkOpacity

不透過度は、0から100までの任意の値にすることができます。デフォルト設定は50です。この値によって、対象画像上に表示される透かしの透過または不透過の度合い(対象画像しか見えない状態の0%から、透かししか見えない状態の100%まで)が決定されます。

watermarkFile

この設定は、NetPublishサーバー上にある透かしGIFの絶対パスです。透かしのソースファイルとして現在サポートされているのはGIF画像のみです。



透かしに関する重要な注意事項

透かしの適用や変更を行うときは、NetPublishサイトのキャッシュディレクトリを消去することが重要です。消去によって、以前生成された(場合によっては、透かしが入っていない)サイト上の画像を誤ってNetPublishで使用されないようにします。

NetPublishのキャッシュを消去するには、

- 以下のディレクトリからすべてのファイルを削除します。

Windowsサーバーの場合、デフォルトの場所は次のとおりです。

```
C:\Program Files\Extensis\Portfolio  
NetPublish Server\Web Root\cache\
```

Macintoshサーバーの場合、デフォルトの場所は次のとおりです。

```
/Applications/Portfolio NetPublish  
Server/Web Root/cache/
```

